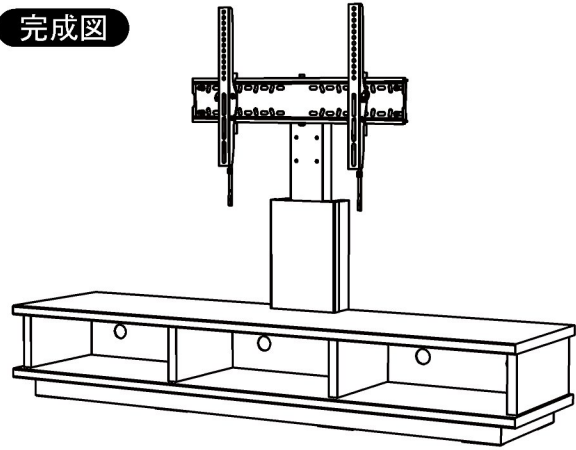
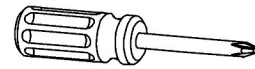


完成図

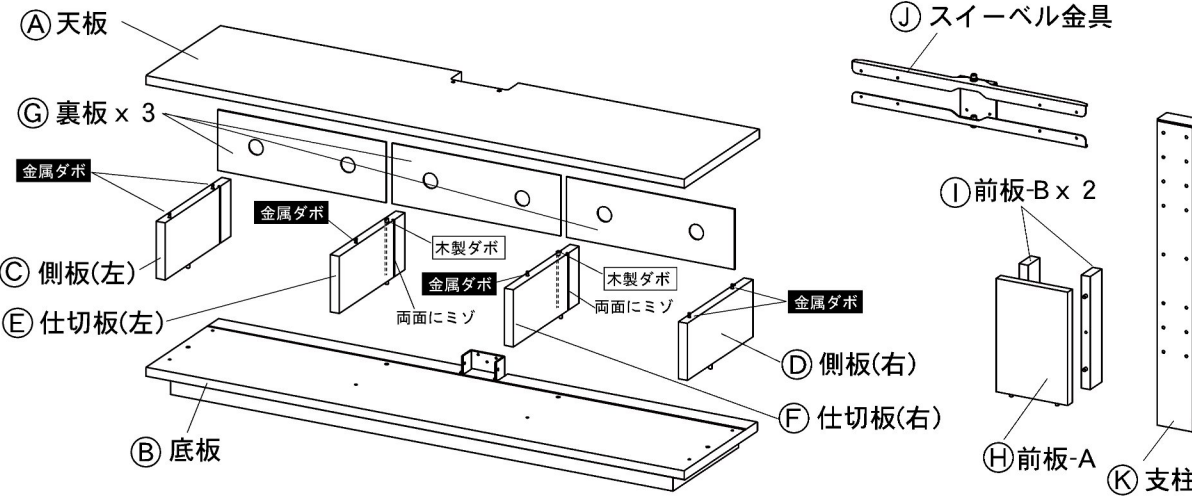


プラスドライバーをご用意ください。



部品の確認

◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。

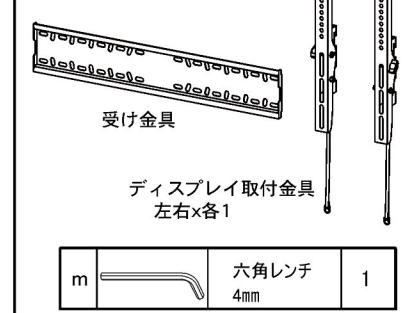


【本体組み立て用部品】

No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
①		ラッパネジ	8	⑦		クッション	8
②		ボルト-A M6x60	6	⑧		六角レンチ 6mm	1
③		ボルト-B M6x15	13	⑨		スパナ(大)	1
④		ワッシャー	17	⑩		スパナ(小)	1
⑤		スプリング ワッシャー	17	⑪		転倒防止ロープ	1
⑥		ナット M6	4				

TLT-002-BK

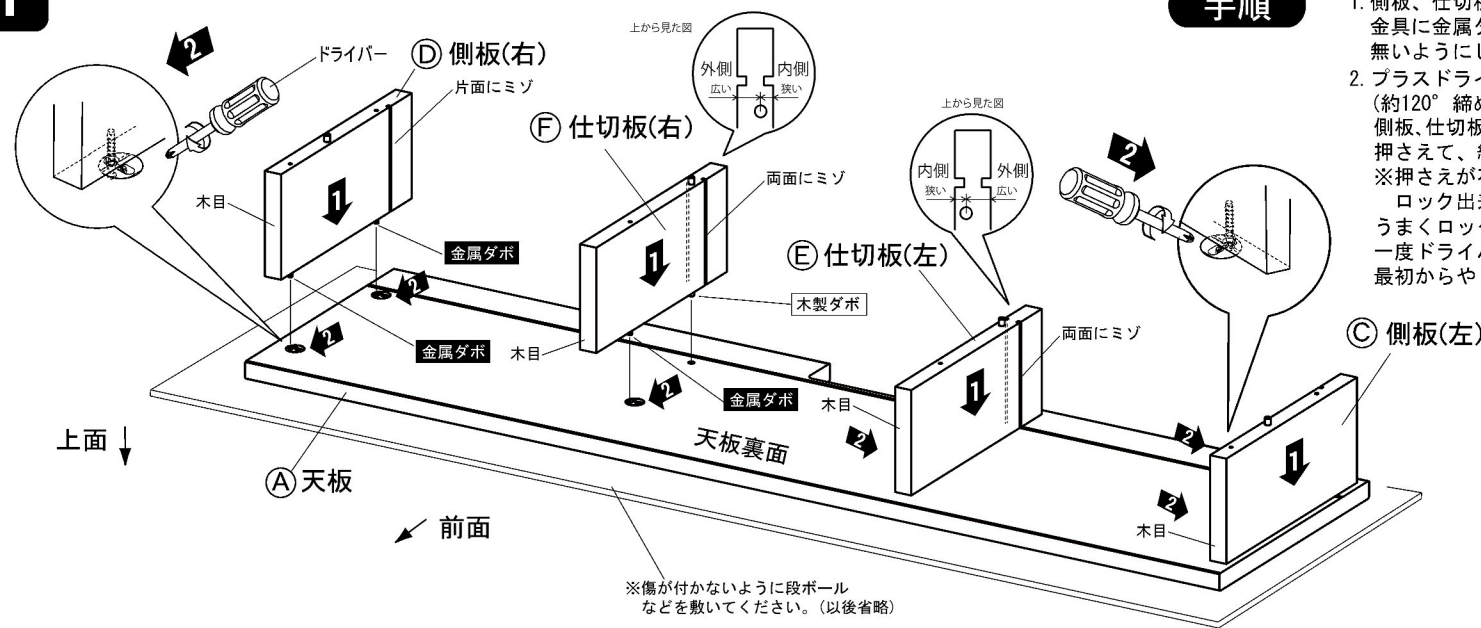
(箱に入っています。)



※ TLT-002-BKの部品のうち、
m六角レンチは本体の
組み立てに使用します。

※テレビ取付用のネジは、こちらの箱に
入っているネジを使用します。
(詳細はTLT-002-BKの説明書を参照してください。)

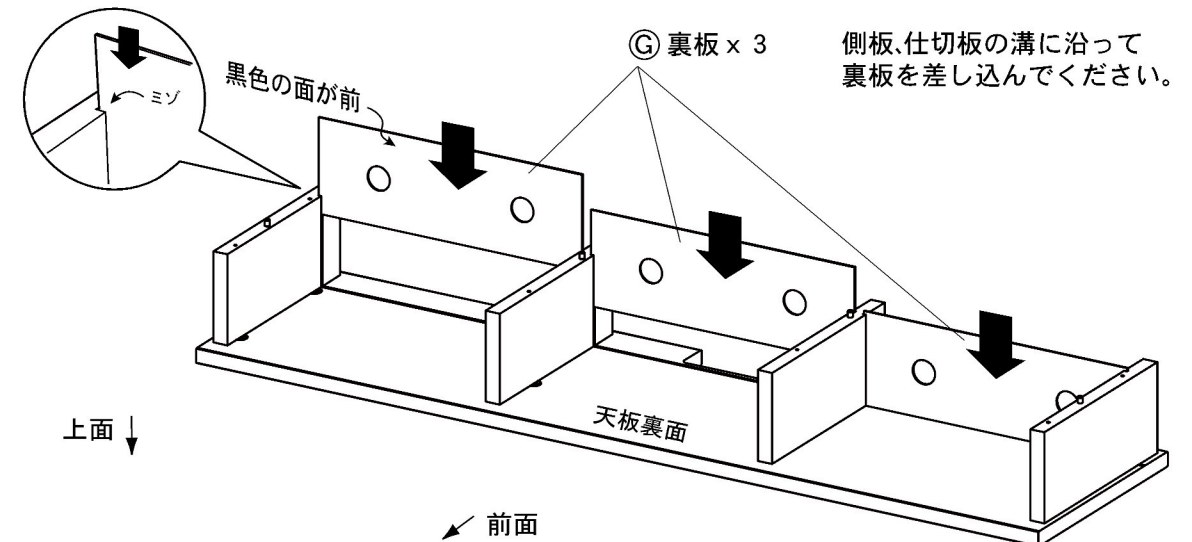
1 天板と側板(左右)、仕切板(左右)の組み立て



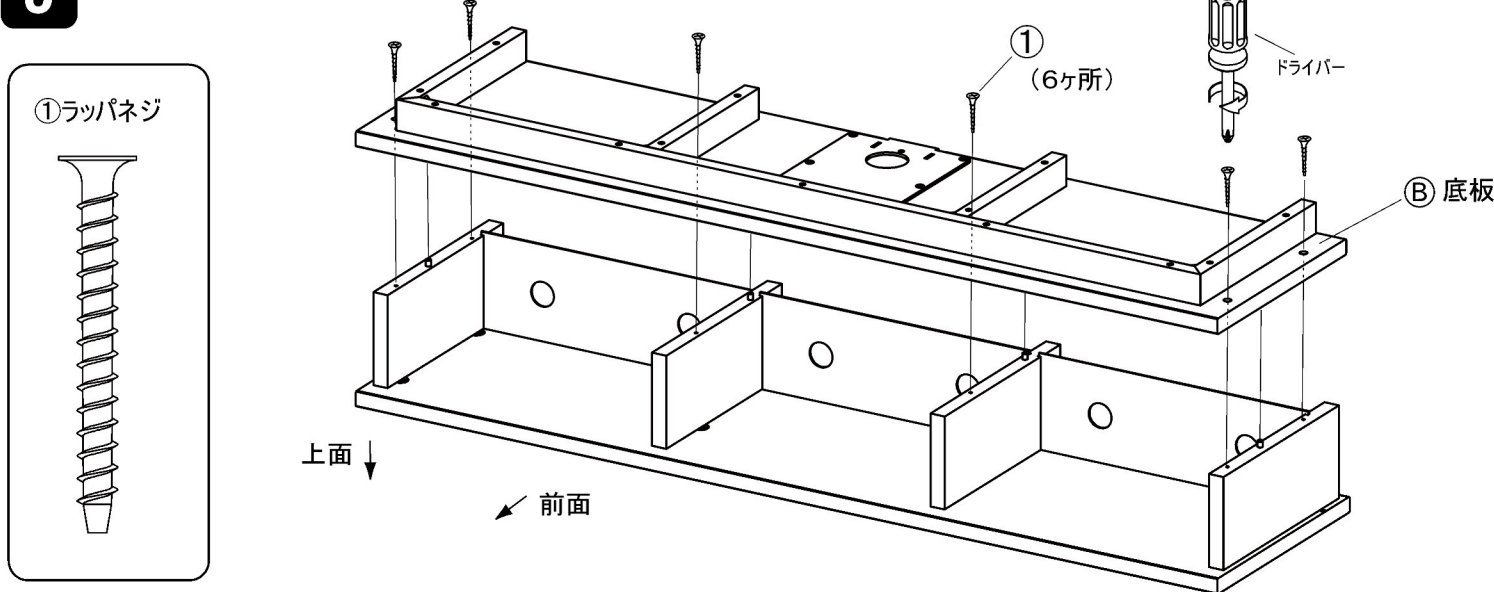
手順

- 側板、仕切板を天板のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。
- プラスドライバーでロック(約120°締める)します。側板、仕切板を上からしっかりと押さえて、組み立ててください。※押さえが不十分だとジョイントをロック出来ない場合があります。うまくロックできない場合は、一度ドライバーで逆回転させて戻して最初からやり直してください。

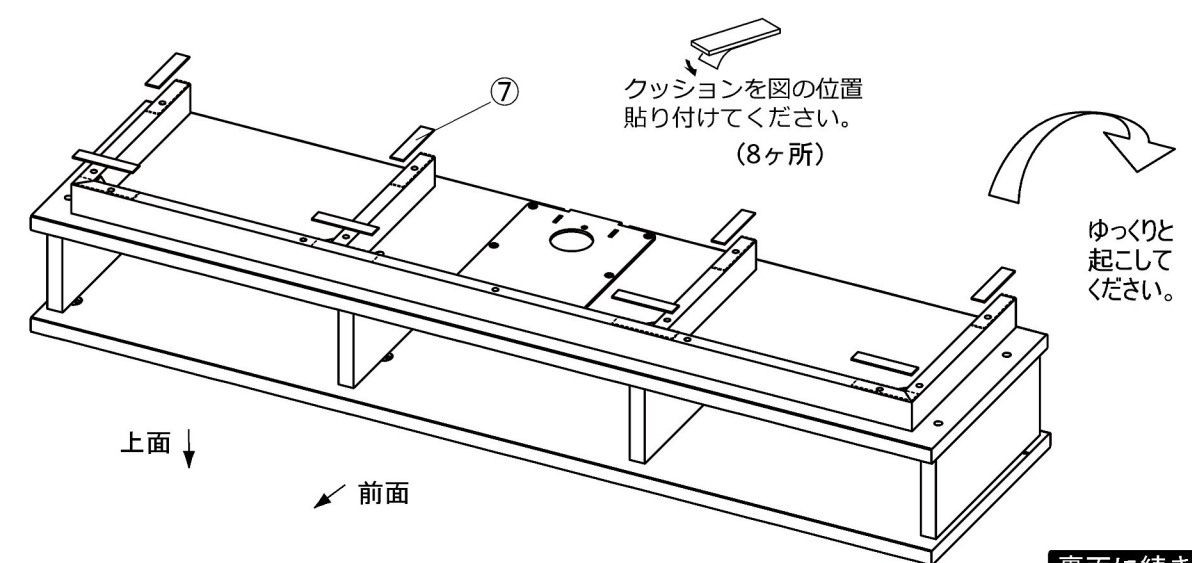
2 裏板の組み立て



3 底板の組み立て

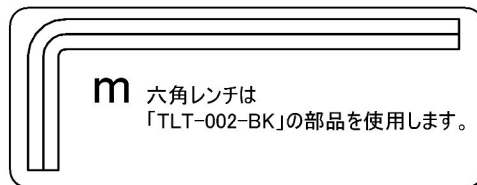
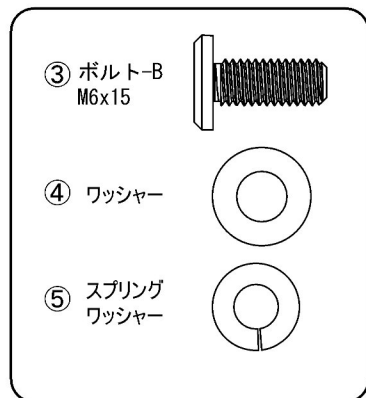


4 クッションの貼り付け



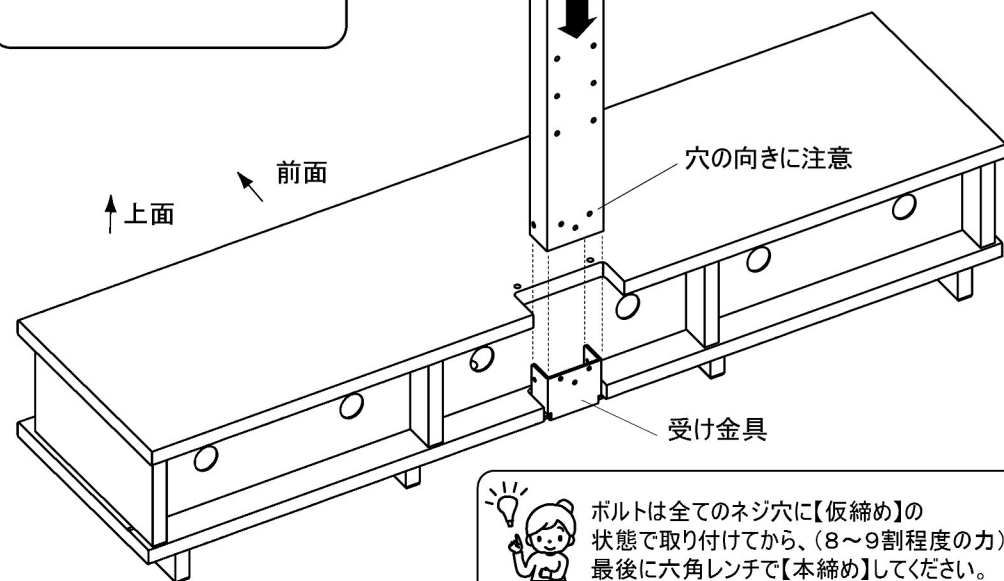
裏面に続きます

5 支柱の組み立て



手順1

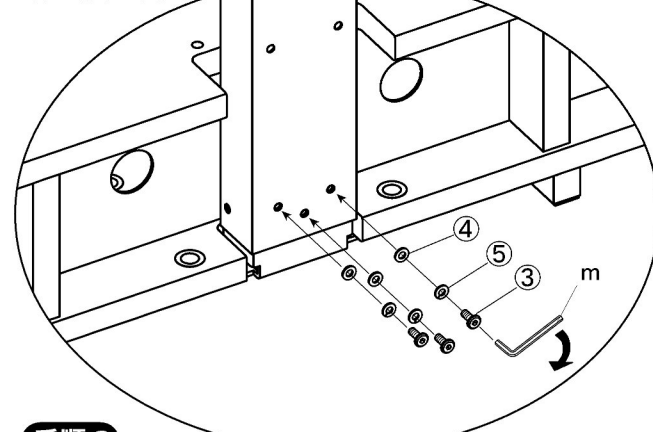
支柱を底板の受け金具に差し込みます。



ボルトは全てのネジ穴に【仮締め】の状態に取り付けてから、(8~9割程度の力)最後に六角レンチで【本締め】してください。

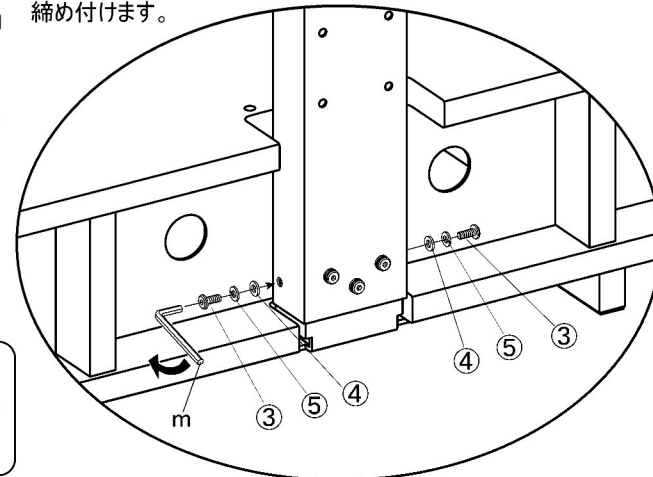
手順2

支柱背面の穴に、ワッシャー、スプリングワッシャー、ボルト-Bの順番で締め付けます。

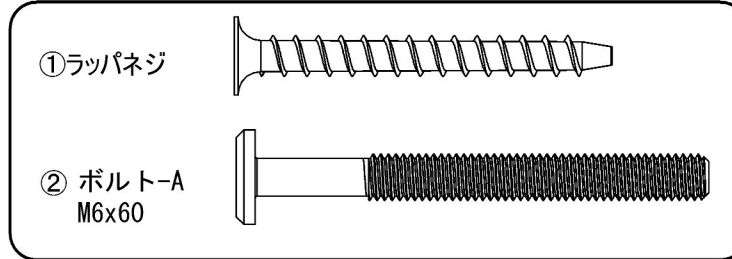


手順3

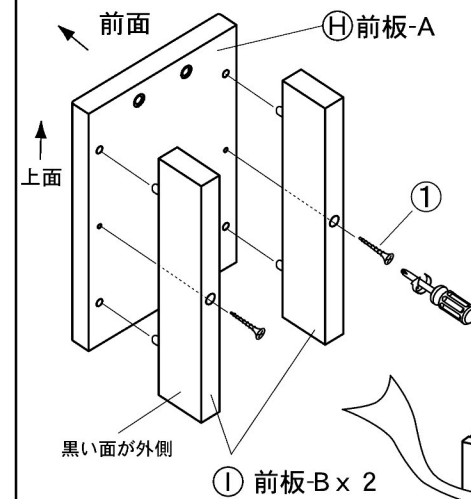
支柱側面の穴に、ワッシャー、スプリングワッシャー、ボルト-Bの順番で締め付けます。



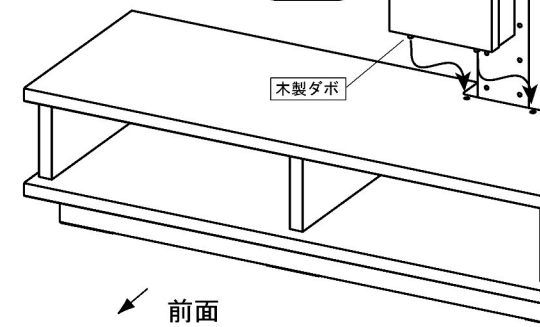
6 前板の組み立て



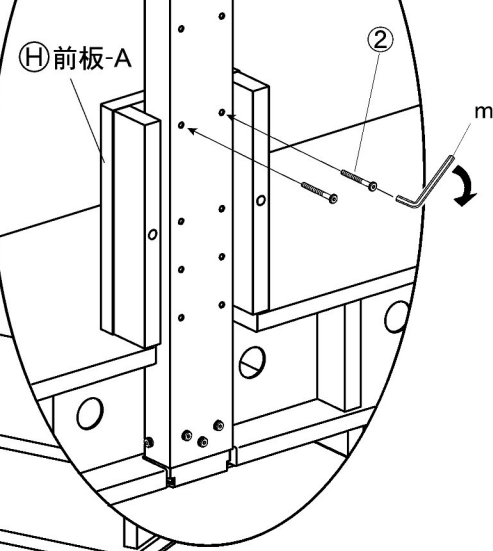
手順1



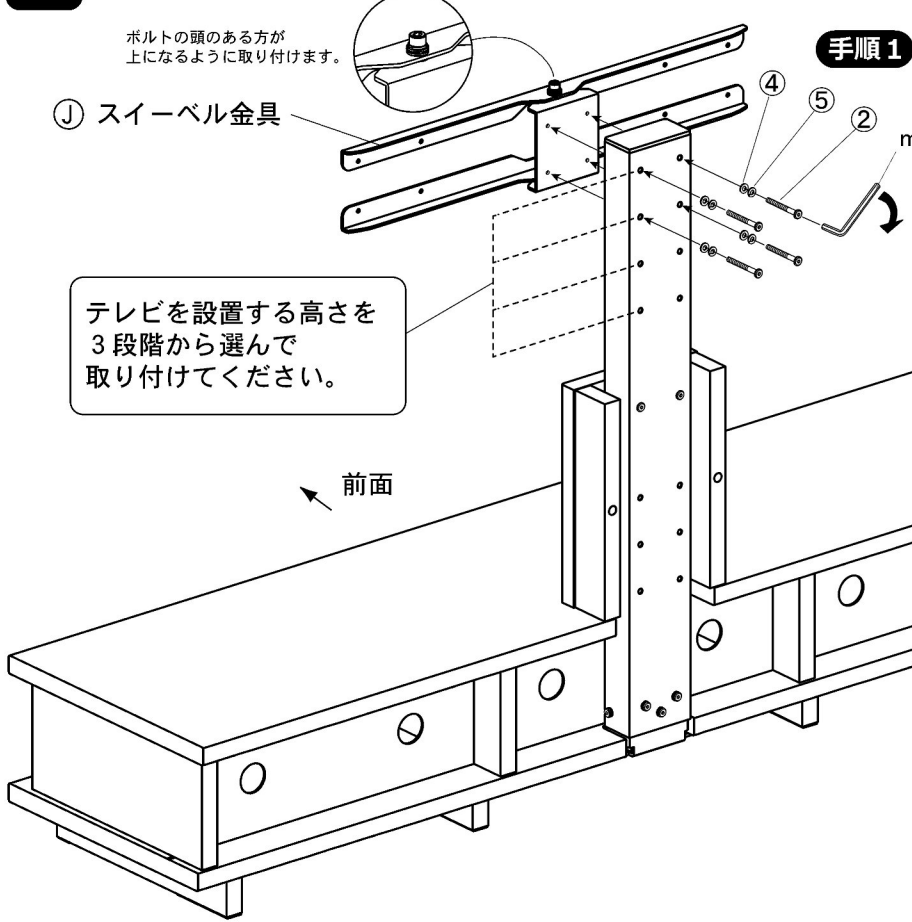
手順2



手順3



7 スイベル金具の組み立て、及び受け金具の組み立て



ボルトの頭のある方が上になるように取り付けます。

手順1

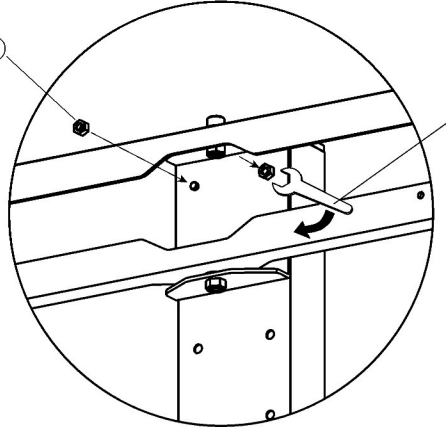
① スイベル金具

テレビを設置する高さを3段階から選んで取り付けください。



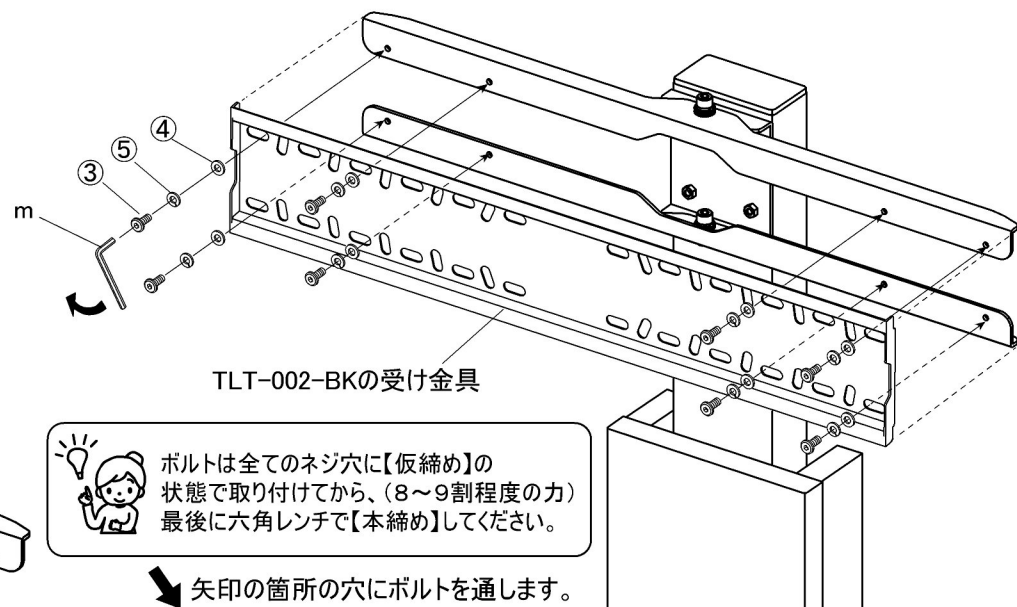
手順2

前面より⑥ナットをスパナ(小)で締め付けます。緩みが無いように、しっかりと締め付けてください。(4ヶ所)



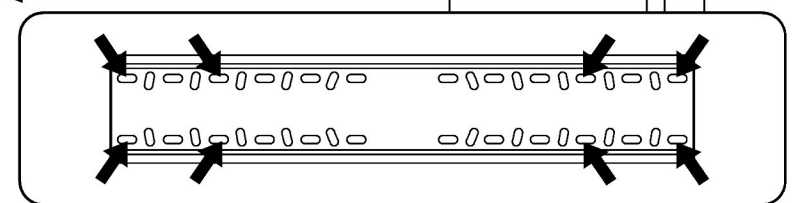
手順3

TLT-002-BKの受け金具をスイベル金具にワッシャー、スプリングワッシャー、ボルト-Bの順番で締め付けてください(8ヶ所)



ボルトは全てのネジ穴に【仮締め】の状態に取り付けてから、(8~9割程度の力)最後に六角レンチで【本締め】してください。

矢印の箇所の穴にボルトを通します。



2枚目に続きます

【TLT-002-BK】の取扱説明書もお読みください。

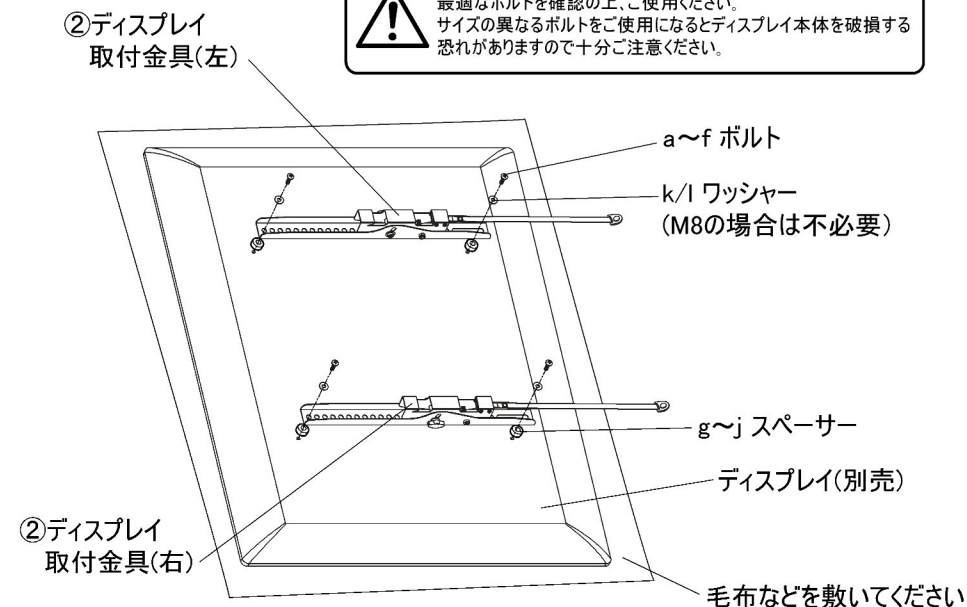
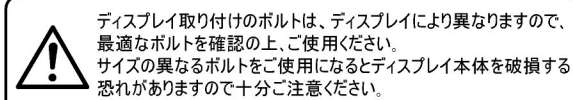


テレビの取り付け作業は、必ず2人で行ってください。

2 ディスプレイ取付金具とディスプレイの組み立て

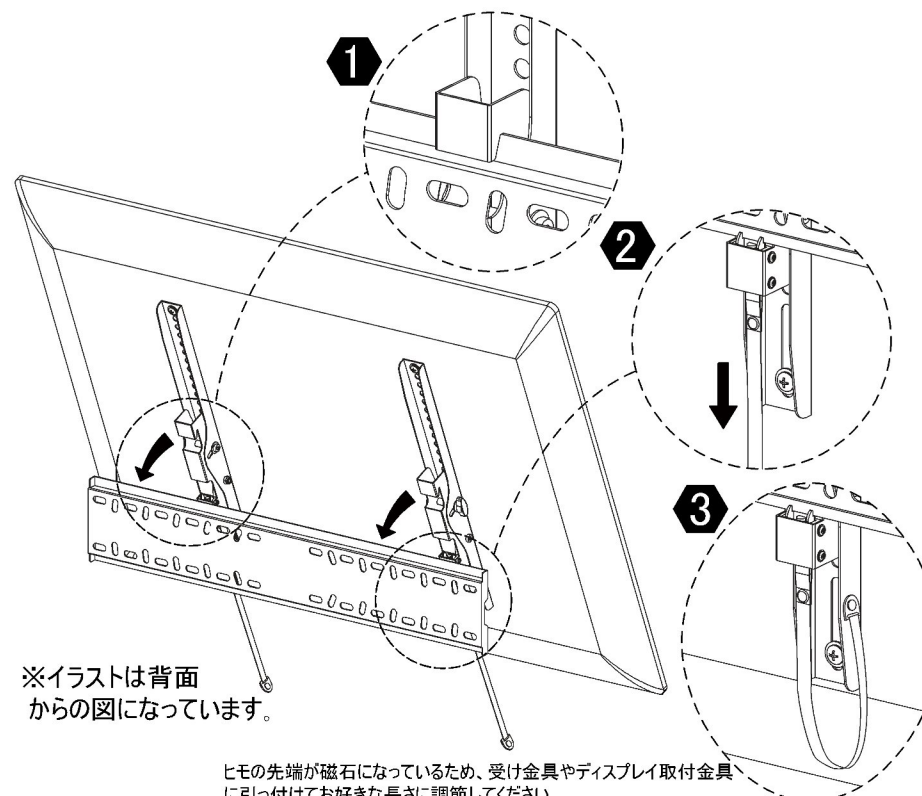
ご使用になるディスプレイに合わせたボルトでディスプレイ取付金具を取付けます。a~fの各種ボルト(M4/M6/M8)が付属していますので、必要に応じてご使用ください。付属のボルトで取付けが出来ない場合、ボルトのサイズをメーカーにご確認して頂き別途お求めください。

g~jのスペーサーは、ディスプレイ背面の形状や配線位置に応じて使用してください。



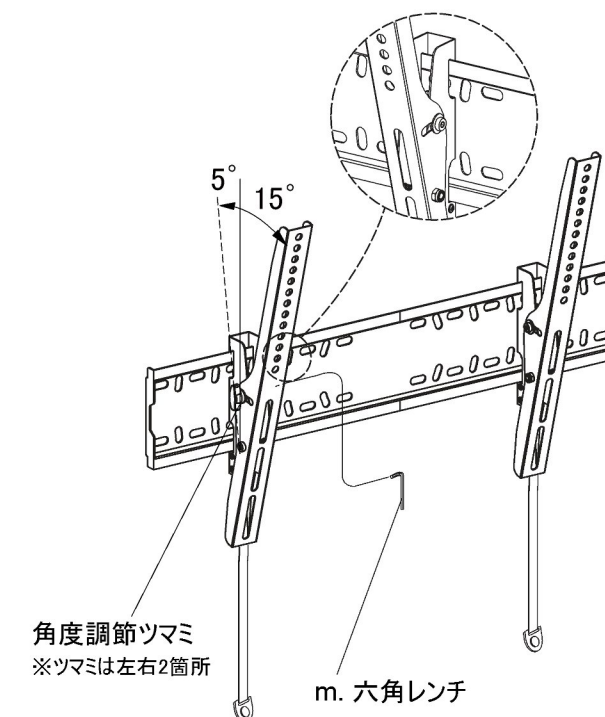
3 ディスプレイの設置

ディスプレイ取付金具を受け金具にセットします。ディスプレイを外す時は紐を引張りロックを解除してください。



角度調節の仕方

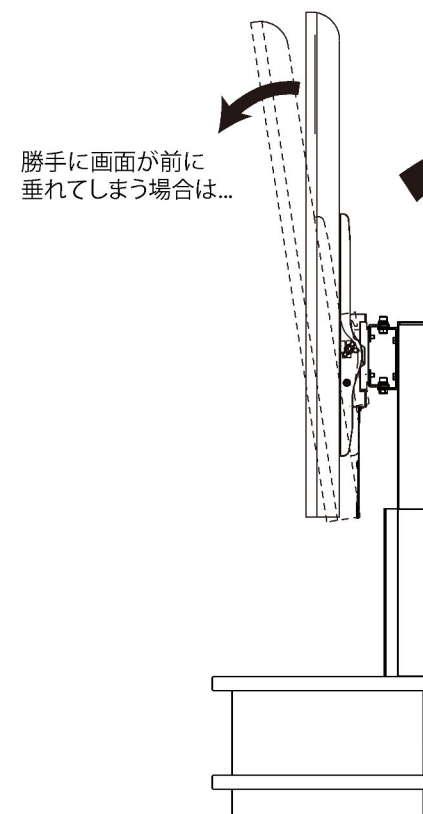
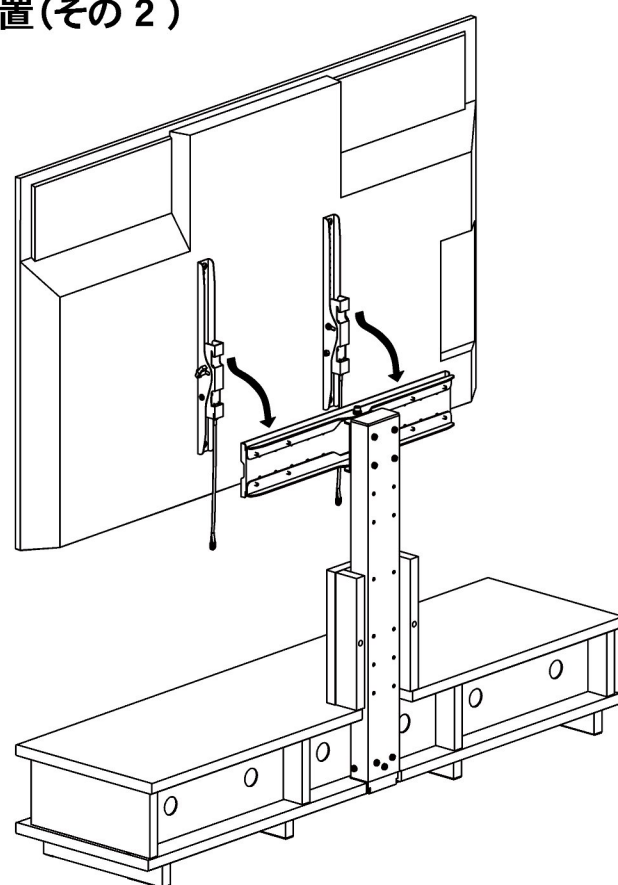
● 下図にあるボルトを付属の六角レンチで緩め、反対側のハンドルも緩めると前方15° 後方5° の範囲で角度調節ができます。角度調節後は、必ずツマミとボルトをしっかり締めて固定してください。



ディスプレイを取り付けたときに、角度調節(チルト)が緩んでくる場合



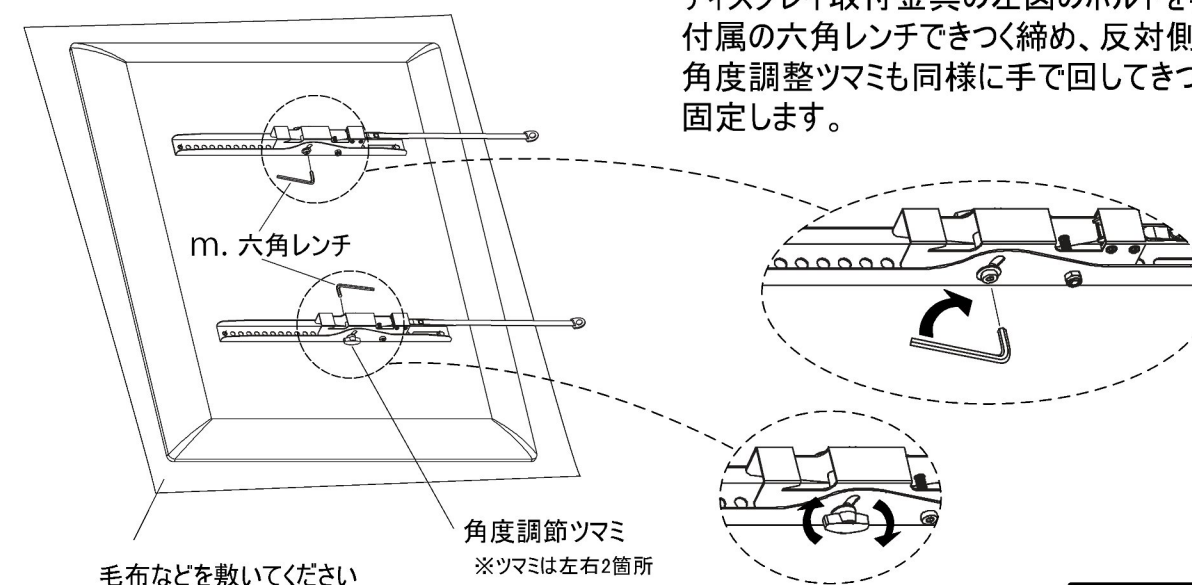
大型のディスプレイのときは、少し上向きの角度を付けると、画面を垂直に調整できます。



手順1 一旦、ディスプレイを本体から取り外します。

手順2

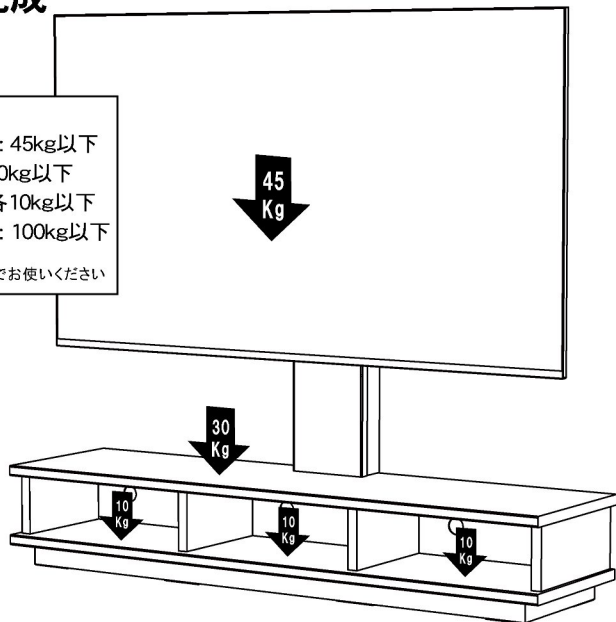
毛布の上で角度を調整したうえで、ディスプレイ取付金具の左図のボルトを再度付属の六角レンチできつく締め、反対側の角度調整ツマミも同様に手で回してきつく固定します。



裏面に続きます

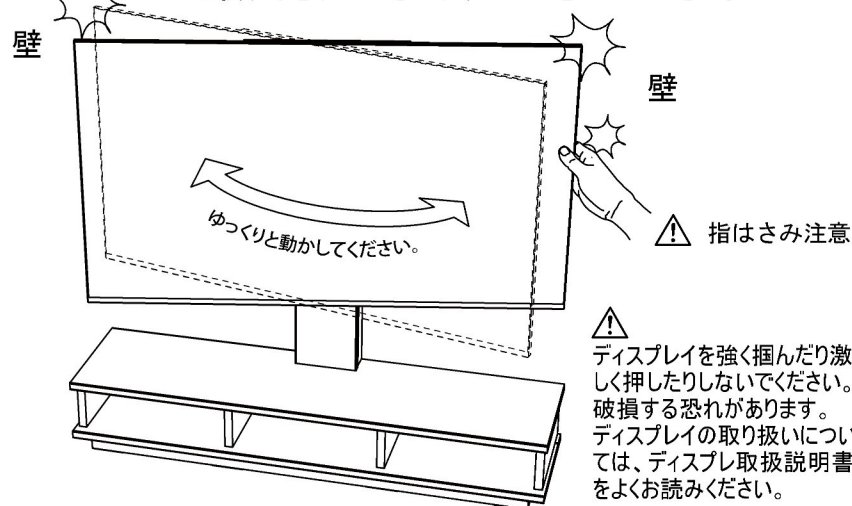
10 完成

【耐荷重】
 テレビ荷重: 45kg以下
 天板: 30kg以下
 底板: 各10kg以下
 総耐荷重: 100kg以下
 *この範囲内でお使いください



ご注意 ディスプレイをスワイベルする時は壁面に接触しない範囲でゆっくりと回転させてご使用ください。

※勢いよく動かすと壁を傷つけたり、ディスプレイが破損する恐れがございますので注意してください。

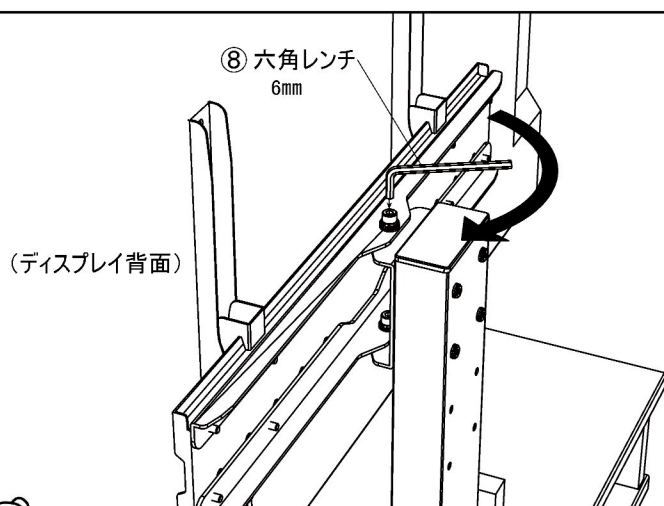


スワイベル(首振り)の固さの調整

(スワイベルの固さは、出荷時に適切に調整しておりますが、緩い場合は下記を参照して締め付けてください。)

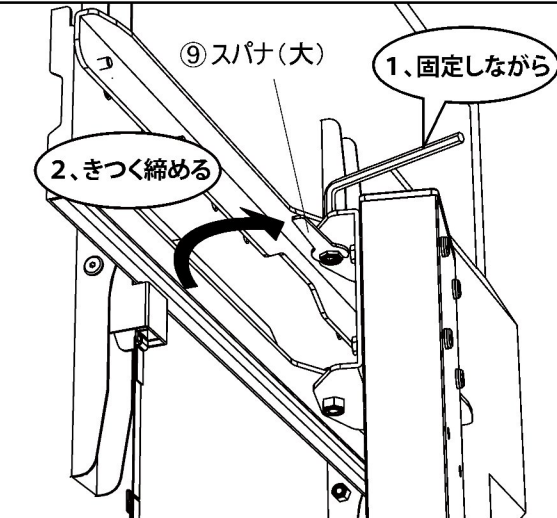
手順1

ディスプレイのスワイベル(首振り)の固さを固くする場合は背面のボルトを六角レンチで締め付けます。



手順2

背面のボルトを六角レンチで固定しながら、下側のナットをスパナ(大)できつく締め付けてください。



このボルトとナットは定期的に、緩みがないかどうか確認してください。もし緩んでいる場合は適切に締め付け直してください。

転倒防止ロープの取付

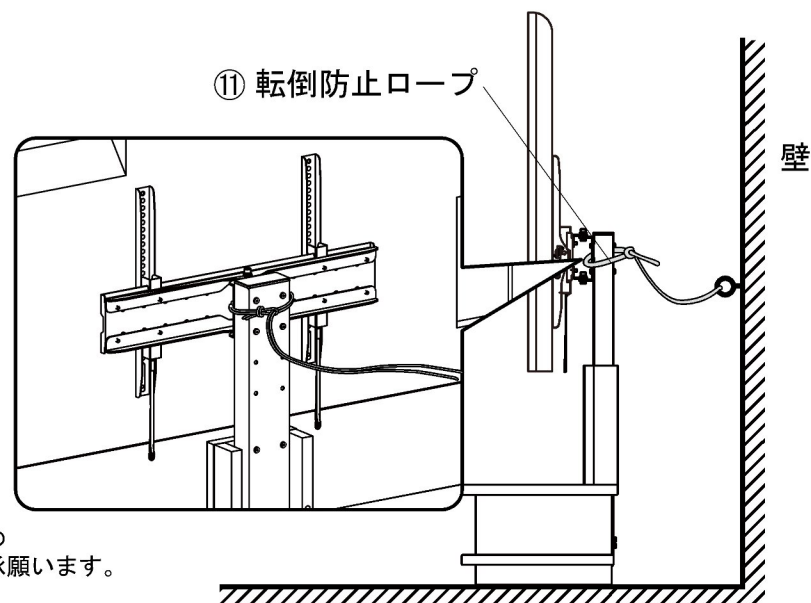
地震などに備え本体を壁面に固定することを推奨いたします。

ご注意

壁面へ固定するネジは付属しておりませんので、ホームセンターなどで、取り付ける壁面に適した物をお客様ご自身にてご用意頂きます様、お願い申し上げます。

壁面は、石膏ボードの他、色々な種類の壁がございます。しっかりと安全に固定していただくために、専門の業者様に依頼される事をお勧め致します。

付属の「転倒防止ロープ」は地震などの揺れに対し、転倒を軽減するための物で、転倒しない事を保証するものではありませんので、予めご了承ください。



使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- テレビやテレビ台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください
テレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 振動のある場所に置かないでください
振動でテレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください
テレビ台の強度が保たなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- 薄型テレビ以外のものを載せないでください
本製品は薄型テレビを載せる専用テレビ台です。その他のものや重いものを載せないでください。
- テレビはテレビ台の中心に設置してください。
設置のバランスが悪いとテレビが倒れたりこわれたりして、けがをする恐れがあります。
※ 記載されている耐荷重を超える機器は載せないでください。
- 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 手や指はさみにご注意ください
ガラス扉や可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時にもご注意ください。
- 移動・設置において
 - 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをする恐れがあります
 - 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。
 - キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある所は持ち上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る恐れがあります。
- ガラス部品について
ガラスには強化処理を施していますが、使い方を誤ると割れる恐れがあります。割れるとガラスの破片が飛び散りけがの原因となりますのでご注意ください。
 - ガラスに物をぶつける、ガラス扉に開けたままぶつかると強い衝撃を与えないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
 - 鋭利なもので傷つけたり、ガラス面を突いたりしないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
 - ガラスに傷やかけが生じた時は、すぐに取替えてください。強化ガラスの場合ガラスに傷がつくと突然破損することがあります。
- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。
- 放熱を妨げないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける)
- 転倒防止の対策を行ってください
転倒防止の対策を行わないと、テレビが転倒しけがの原因となります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください
変形をしてテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。



一般社団法人 日本家具産業振興会